

カリキュラム

A.バックオフィス	ベンダーマネジメント力の向上
システム導入	

コースのねらい	情報システム開発の発注者(ユーザー企業)として知っておくべき事項を理解し、システム開発会社(ベンダー)との良好な関係を築くためのベンダーマネジメント手法を習得する。
---------	--

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)
講義内容	1	ベンダーマネジメントの概要 (1) ユーザ企業とベンダー企業(ITシステム提供企業)とは ・ユーザ企業とベンダー企業の役割や考え方を示し、立場、目的、考え方の相違点、ユーザ企業へのシステム導入時の問題点や課題を理解する。	1.5
	2	ベンダーの選定 (1) RFP(提案依頼書) ・ユーザ企業の求めるシステム像を的確に表現してベンダー企業に伝達するため、RFPについて内容と必要性を理解する。 (2) RFPを作成したITシステム導入ステップ ・RFPの作成を含めてITシステムの理想的な導入ステップを理解する。 (3) ベンダーの選定・評価手法【演習予定】 ・RFPを作成し、ベンダー企業から提案を定量的に選定・評価する手法と内容を理解する。	2.0
	3	VMOが担う役割 (1) ベンダー企業からの見積り内容確認 提案依頼書と見積り内容の比較、開発費が妥当性確認、運用管理委託費妥当性確認 (2) ITシステム投資効果確認【演習予定】 VMOの役割として、ITシステムの目的と期待効果、投資額の算出、投資後の実績の確認等の手法概要を理解する。 (3) システム導入事例 ベンダー側の都合とシステム導入のトラブル具体例を紹介	2.5
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント
ユーザ企業側の視点として、ベンダー企業(ITシステム提供企業)との付き合い方や立ち位置を理解する。その後、RFP(提案依頼書)の作成、ベンダー選定、IT投資目標と効果の考え方を理解できるようにした。研修中、適時、個人演習を実施して、知識の定着を図る。

講師から一言
システム導入で意図した結果を得るには、自社のユーザー部門のシステム開発業者(ベンダー)との関わり方が重要である。この研修の中で、その際に用いる手法や留意する点を確認し、今後のシステム導入に活用いただきたい。